

学校の概要

(1) 歴史

- ・本校は、昭和22年に中川郡智恵文村立智恵文中学校として発足。
- ・昭和29年の町村大合併により名寄町立智恵文中学校となり、昭和31年には市政施行により名寄市立智恵文中学校となり、今年開校74年目を迎える。
この間、良き伝統と校風が形成され、多くの有能な人材を輩出してきた。
- ・智恵文地区の人々は、歴史ある智恵文村の村民としての誇りをもち、地域の発展に惜しみない努力を注いできた。従来より、教育に対する関心は高く、教育活動及びPTA活動、子供会の育成、生涯学習にも熱心に取り組んでいる地域である。
- ・本校は平成11年度より名寄市の特認校として認可され、智恵文のみならず、名寄市街地からの通学も増えている。

(2) 地域の実態

- ・地域は、アスパラ・ジャガイモ・カボチャ・ビート等を主産品とした畑作地帯、及び乳牛を主とした酪農地帯である。
- ・智恵文駅の近くには、「ひぶなの里」智恵文沼があり、「智恵文沼水辺の楽校」として周辺整備が進み、自然観察や体験学習の活用場となっている。
- ・バイパスが美深まで延長となり、国道40号線の交通量は激減しているが、中学校前の道路の交通量は以前と変わらない。

(3) 学校の実態

- ・教職員16名、単式で、通常学級(3)、特別支援学級(2)の合計5学級である。
- ・総合的な学習の時間(CAL)、農園活動を基盤とする地域との触れ合いやボランティア活動が本校の特色ある教育活動であり、継続し取り組んできている。
- ・名寄市指定の特認校(バリアフリースクール)であり、特認校制度による通学生徒の数は3割以上である。
- ・生徒数(令和2年4月現在)

	男子	女子	合計	備 考
1年	9	0	9	※特認生1人
2年	1	3	4	※特認生2人
3年	6	6	12	※特認生6人
合計	16	9	25	